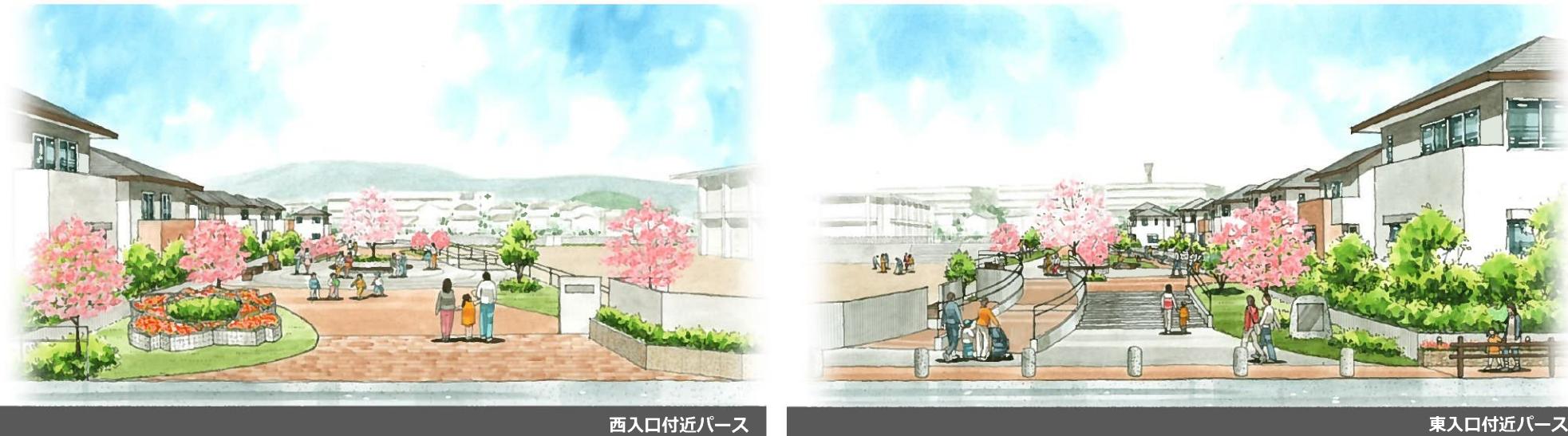


1 公園の基本計画について

公園は、周辺地域や住宅地の住民、スポーツ施設・グラウンドの利用者など、多様な人々が集う賑わいの空間として計画します

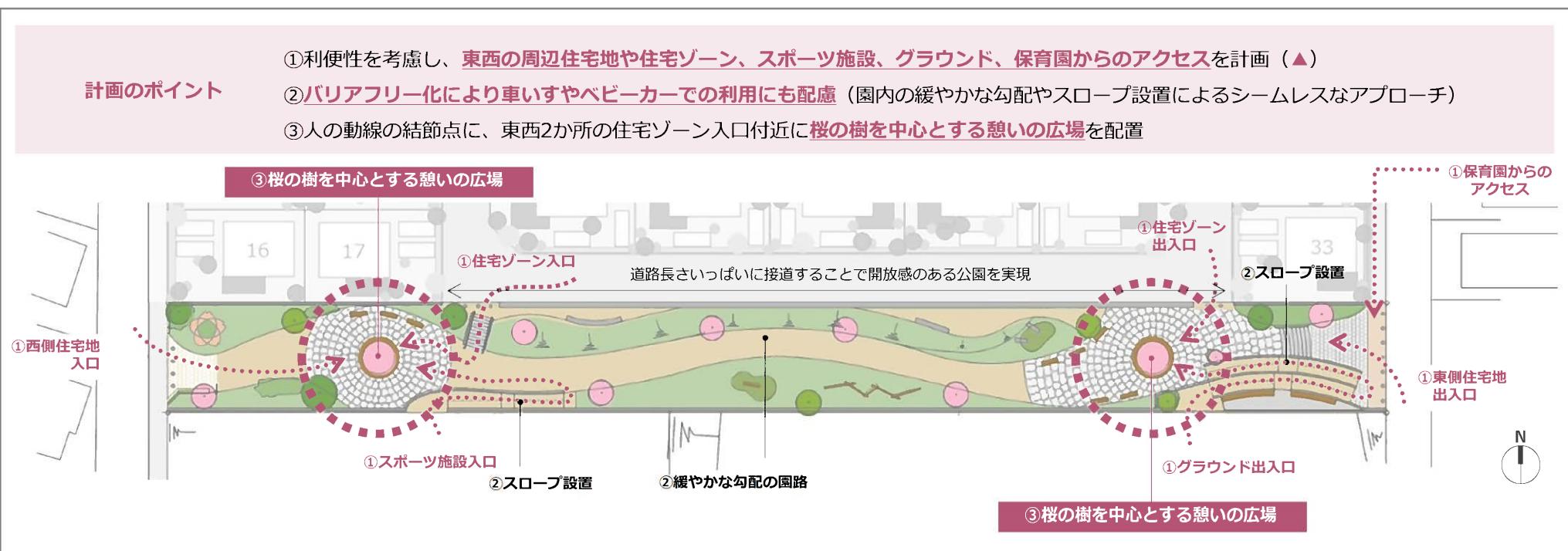


西入口付近パース

東入口付近パース

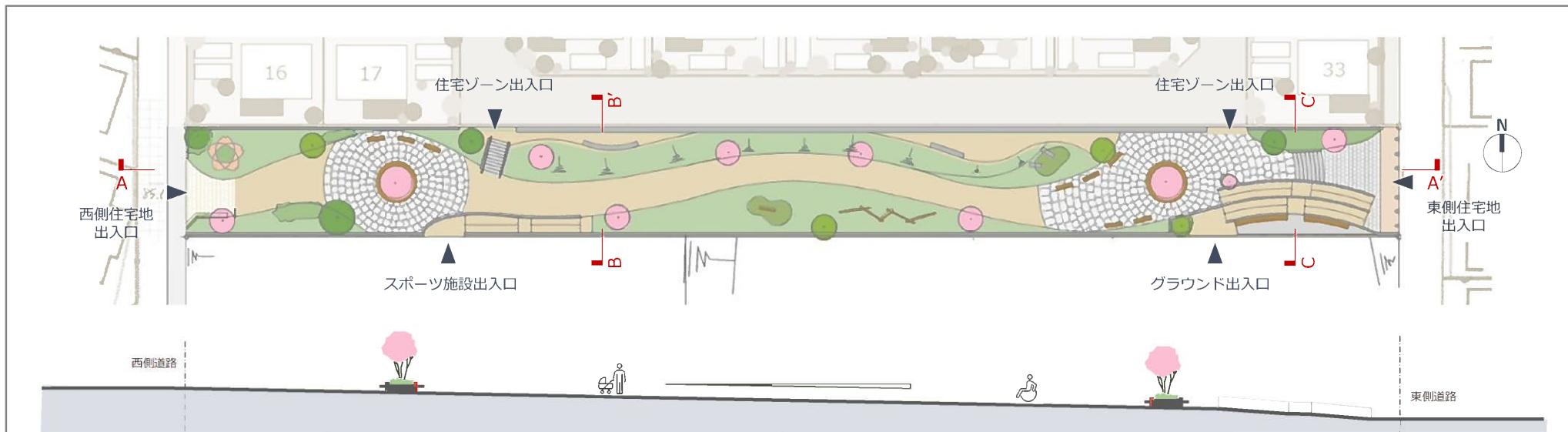
計画のポイント

- ①利便性を考慮し、東西の周辺住宅地や住宅ゾーン、スポーツ施設、グラウンド、保育園からのアクセスを計画 (▲)
- ②バリアフリー化により車いすやベビーカーでの利用にも配慮 (園内の緩やかな勾配やスロープ設置によるシームレスなアプローチ)
- ③人の動線の結節点に、東西2か所の住宅ゾーン入口付近に桜の樹を中心とする憩いの広場を配置



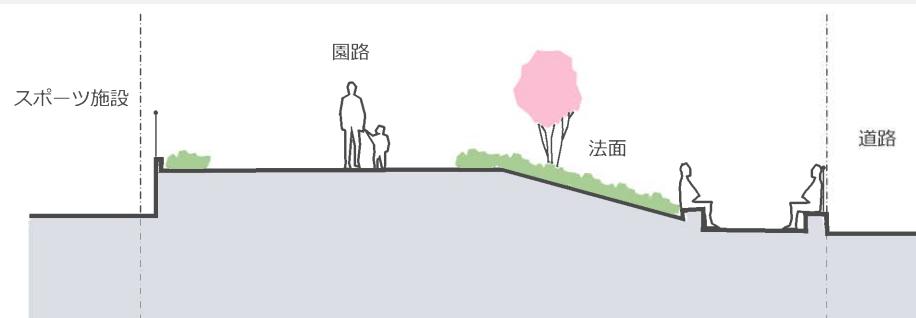
2 公園と周辺エリアとの高低差の詳細について

ベビーカーや車いすなど、多様な利用者への配慮として、**公園の出入口や園内のバリアフリー化**を図ります。



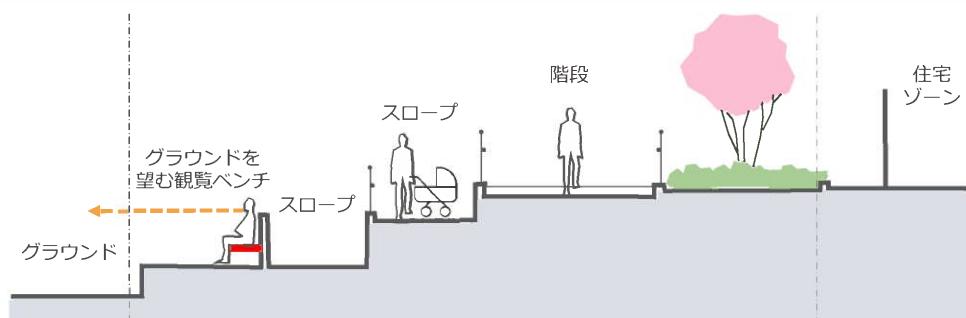
西側エリアの特徴（緩勾配・平面スペースの確保）

- ・公園の西側は緩やかな勾配で計画
- ・広場や遊具スペースの平らな部分ができるだけ広くとるために、南隣地側は直擁壁で計画
- ・北側の住宅ゾーン沿いは道路境界部の囲障部分に長椅子型の工作物を設置



東側エリアの特徴（グラウンドとのシームレスな接続と観覧スタンド）

- ・公園とグラウンドをスロープで接続できるように高低差を計画
- ・スロープの踊り場にはグラウンドを眺められる観覧ベンチを設置



公園整備計画 ~地域に親しまれる公園整備~

3 公園におけるコンセプトの実現について



I. 右京小の思い出を継承する風景

公園と住宅地が一体となった桜の風景をつくります。

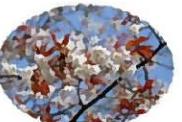
①公園にも住宅地と同じく

管理しやすい桜を植樹

(十月桜、オカメザクラ等)

②2か所ある円形広場の中心には

ヤマザクラを植樹



ジュウガツザクラ

ヤマザクラ

公園に右京小学校の記憶を残すデザインを取り入れます

③西入口に校門を復元したモニュメントと銘板、校章を模った花壇を設置

※校章を模った花壇は地域住民による管理を想定

④東入口に校歌を刻んだ石碑を設置

II. 安全・安心な暮らしの地域共有

子どもから大人まで安心して憩える公園をつくります。

①子ども用の遊具スペースはやわらかいチップ舗装で整備

②健康遊具を整備し、地域の健康づくりを増進。

歩きやすいクレー仕上げの園路や休憩時のグラウンド観覧スペースを設置

かまどベンチを公園に設置します。

③かまどベンチ

III. 地域とつながるコミュニティ

地域と新住民をつなぐ広場をつくります。

①桜は植樹祭を開催し、地域みんなで愛着を持って育成を推進。

緑化活動で地域と新住民をつないでいきます

②公園内の花壇や植栽を新住民と地域住民一緒に管理しながら交流機会を創出

また、住宅地でも桜を育て、公園と一緒に桜の風景づくりを推進

③樹木には樹種のネームプレートを設置し、地域の子ども達の学びも推進



植樹祭の様子